

第1回 八尾市総合計画審議会 議事録

日時：平成30年6月26日（火）18時30分～19時30分

場所：八尾市役所6階 大会議室

出席者：

相川委員、和泉委員、岩本委員、大本委員、岡橋委員、川崎委員、川野委員、貴島委員、久保委員、熊本委員、清水委員、田口委員、田中順治委員、田中優委員（副会長）、谷岡委員、丹波委員、轉馬委員、中田委員、中浜委員、西田委員、農野委員、野村委員、初谷委員（会長）、花嶋委員、浜田委員、菱家委員、平野委員、藤本委員、増田委員、枅谷委員、三島委員、水野委員、村田委員、吉田委員、和田委員、事務局

※ 委員名は五十音順

欠席者：岸本委員、新福委員、林委員

開会

事務局

ただいまから第1回八尾市総合計画審議会を始めます。

（資料確認）

1. 市長あいさつ

田中市長

皆様、こんばんは。

本日は、八尾市における総合計画策定にあたっての審議会の立ち上げの日です。総合計画は市の最上位計画でありますので、皆様方には大変ご苦勞をおかけしますが、今年、来年、再来年の3年間となります。今年は、第5次総合計画の検証をしていただき、総合戦略の検証と合せてお願いしたいと考えています。今まで進めてきた総合計画を振り返りながら、平成33年からスタートする新しい計画を皆様にお作りいただきたいと考えています。先ほども申し上げましたが、この計画は最上位計画で、各個別計画にもつながる計画です。皆様方の知見や経験、八尾らしさ、八尾に対する思いが盛り込まれた計画になればと思っています。

折しも八尾市政は今年で70年を迎え、4月1日から中核市へ移行し、ネクストステージに入ります。地域分権を始め、市民の皆様や地域団体、八尾の企業の皆様と共に八尾のまちをつくってきた、そしてそのことを大切にしてきたという思いです。中核市になることで多くの権限をいただき、市民の皆様にはさらなるサービスを提供していきたいと考えています。身近なところで身近な行政が行われることほど、市民にとって喜ばしいことはないと思います。地方自治は国の動きや景気に左右されますが、そのような中にあっても、

今後八尾市が目指すべき方向をしっかりと推進したいと考えています。

八尾市の今年のキャッチフレーズは、「まちは人 やおは人」です。人を大切にする八尾のまち、困っている人がいれば声をかける人が多いまち、そのような優しいまちを目指したいと考えています。

一方で I o T、A I などの技術革新が非常に進んでおり、今後どのような社会になるのかと思っています。このようなことにも対応した八尾の行政でなければならないと考えています。便利なものは使いながら、市民の安心、安全をつくったり、業務の効率化を図りながら人と接する時間を作ることが大切だと考えています。

様々なご意見があると思います。今まで八尾市が進んできた道を検証していただき、新たな方向性を切り開く第 6 次総合計画となるよう、皆様の知見、経験、思いを存分に議論を交わして、答申をいただきたいと考えています。よろしくお願い申し上げます。

2. 委員の委嘱

3. 委員・事務局の紹介

4. 会長・副会長の選出

(委員の互選により会長に初谷委員、副会長に田中優委員を選出)

初谷会長

私は第 1 号委員ということで、普段は公共経営学、地方自治論、NPO 政策論の教育・研究を行なっています。最近八尾市でも取り組んでいる地域分権政策、地域ブランド政策などの調査も行っています。第 5 次総合計画の策定や、その後の中間時点での基本計画の評価にも携わらせていただきました。この度、第 6 次計画を目指すということで、思いも新たに、また一から緊張感をもって取り組ませていただきたいと考えています。

個人的な見解ではありますが、この間のことを顧みると 3 つのことが大事だと思っています。1 点目は、先ほど田中市長のお話にもあったように、波はあったものの、ここ四半世紀くらいで地方分権改革が進んできました。この間に、総合計画における策定の義務付けが廃止されました。改めて自治体として主体的、能動的に総合計画をどのように作るかが問われています。

2 点目は、この間に怒涛のように、官民協働、公民協働ということで、行政だけでなく、民間や地域などの様々な人と一緒にまちづくりを進めることが全国的に普及してきました。その中で、総合計画は、過去の行政計画でなく、地域と一緒に運営していく公共経営の観点による総合計画が求められていると思います。

3 点目は、第 5 次総合計画で八尾市が着実に積み重ねてきた実績の 1 つだと思いますが、地域分権という制度を展開するにあたって、八尾市は「地域と向き合う市行政」や「地域

に根差したまちづくり」を常に言ってこられました。新しい総合計画では、そのようなことを指針とし、その要素が高まるように考える必要があると思っています。

委員の皆様は、それぞれのご専門、お仕事、ご活動に基づいて様々な知見や経験をお持ちです。全体会議もそうですが、今後部会の中にもありますので、そのような場で皆様と議論を交わしながらよい総合計画につながりますよう、努めていきたいと思っています。微力ではありますが、ご協力のほどよろしくお願いします。

田中優副会長

大学の教員になってから初めて自治体の審議会の仕事をいただいたのが、今から8～9年前の八尾市の総合計画でした。それから約10年経つわけですが、八尾市との関わりがここまで深くなるとは思っていませんでした。通常なら審議会に参加してそれで終わりですが、私は幸いにもその後もお声かけをいただき、校区まちづくり協議会での講演会や研修会、地域住民の様々な主体的取組の支援も行わせていただいています。今年度は、八尾市の新人職員研修の企画にも携わらせていただきました。元々、自治体職員の人材育成が大きな研究テーマであることから、自分自身の研究も兼ねて、八尾市とはずっとおつきあいをさせていただいています。

この10年間、まちづくりアドバイザーとして、他の自治体と比較しながら八尾をかなり眺めて研究してきました。そのような中、この度八尾市の総合計画審議会の副会長を仰せつかりました。元々総合計画は最上位の計画のため意義は大きいのですが、初谷会長からお話があったように、今回の向こう10年の計画は、今まで以上に非常に大きなものになります。今までの10年の間に、消滅自治体というものが、全国でランキングされる形で出されたりしました。向こう10年の間には、2025年問題、福祉の問題など、自前の資源では完結できない未曾有の事態が地域社会に押し寄せてきます。私自身も40代後半にさしかかり、自分の子どもが次の世代を産む時代になっていきます。できる限り持続可能な地域を目指して、今から手を打っておくことが必要だと考えています。

今まで八尾が取り組んできた地域分権や校区まちづくり協議会などを中心に、今回の総合計画で足元の強いまちづくりを一層進めなければなりません。そこで果たせなかったことを新たにデザインし直すことも必要です。そのような総合計画になると考えています。これだけのメンバーが集まっているため、ぜひ皆様の知見を生かしながら、初谷会長を支え、よいまちづくり、よい総合計画にしていければと思います。3年の長丁場に渡りますが、終わったときに、「将来に誇れる計画ができた」と皆様と称え合えれば望外の喜びです。ぜひとも頑張りましょう。よろしくお願いします。

5. 会議の公開について

初谷会長

事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料4説明)

初谷会長

本審議会を公開とすることにご異議ありませんか。

全委員

異議ありません。

初谷会長

異議なしと認め、本審議会、会議資料、会議録について、原則公開とします。

事務局

それでは、傍聴の方に入場いただきますので、少しお待ちください。

(傍聴者入場)

6. 諮問について

初谷会長

事務局で進行をお願いします。

事務局

田中市長から、初谷会長へ諮問させていただきます。

田中市長

(諮問書を読み上げ、初谷会長に手渡し)

事務局

田中市長はほかの公務がございますので、退席させていただきます。

(市長退席)

初谷会長

それでは、今後、田中市長からの諮問に対して審議に入っていくこととなりますが、委員の皆様と共通した認識の下で審議を進めていくため、この審議会の位置づけについて、確認しておきたいと思います。

資料1に八尾市総合計画策定条例がありますが、第4条において、「市長は、基本構想及

び基本計画を策定し、または変更しようとするときは、あらかじめ、執行機関の附属機関に関する条例第1条の規定により設置された八尾市総合計画審議会に諮問しなければならない」とあります。

次に、当審議会の役割ですが、資料2にあります「八尾市総合計画審議会規則」第2条において、「市長の諮問に応じて基本構想及び基本計画並びに八尾市総合戦略に関する事項を調査、審議する」とこととされております。このことを共通認識とした上で、諮問事項について審議していくこととします。

7. 審議会の内容と進め方について

初谷会長

今回は第1回の審議会なので、第5次総合計画の概要についても併せて事務局から簡単に説明願います。

事務局

(八尾市第5次総合計画(概要版)、資料5、6説明)

初谷会長

審議会の内容と進め方について、事務局案のとおりとしてよろしいでしょうか。

全委員

異議ありません。

初谷会長

異議なしと認め、事務局案のとおり進めてまいります。

8. 部会設置と部会長の指名について

初谷会長

先ほど事務局から提案のありました、目標別4部会、地域別1部会、総合戦略1部会を設置したいと思います。いかがでしょうか。

全委員

異議ありません。

初谷会長

ご異議ないようですので、以上の専門部会を設置したいと思います。

次に、先ほど事務局から説明がありましたように、「八尾市総合計画審議会規則」6条2項に、部会に部会長を置き、会長の指名する委員をもってあてることとなっておりますので、私から指名いたします。

まず、目標別につきまして、安全・安心・健康部会長は田中優委員にお願いいたします。

未来・魅力部会長は農野委員にお願いいたします。

にぎわい・環境部会長は清水委員にお願いいたします。

ひと・まちづくり部会長は私とさせていただきたいと思います。

内容が関連する地域別計画部会長も私とさせていただきます。

総合戦略部会長は、先の審議会で会長を務めていただいた和田委員にお願いいたします。

指名させていただきました委員の皆様におかれましては、なにとぞよろしくお願いいたします。また、各部会における副部会長につきましては、部会開催時に部会長からご指名いただきますようお願いいたします。

また、各委員の皆様には部会にお入りいただき、議論いただきたいと思います。部会に属する委員の指名につきましては、八尾市総合計画審議会規則第6条の規定により、私が行うことになっています。

まず「目標別部会」については、皆様のご希望を踏まえて指名させていただきたいと考えますが、1号委員の皆様につきましては、ご専門を考慮し、私より指名させていただきます。

相川委員は安全・安心・健康部会に、和泉委員は未来・魅力部会に、和田委員及び花嶋委員はにぎわい・環境部会に、久保委員及び熊本委員はひと・まちづくり部会にお願いいたします。

次に7号委員については、全部会への所属をお願いします。

また、2～6号委員の皆様につきましてはご希望を踏まえて、指名させていただきたいと考えます。ご希望の意向調査につきましては、後程事務局から説明します。

続きまして地域別部会の委員につきましても、ご希望を踏まえたうえで、委員の皆様が属する目標別部会の構成を見ながら、八尾市の地域分権について実りある議論ができるよう、後日私が指名したいと考えております。地域別部会に属する委員構成については、決定次第、事務局から皆様にお知らせいたします。

なお、総合戦略部会につきましては、本日の会議閉会后、この場所にて第1回総合戦略部会を開催いたします。先ほど事務局より説明がありましたように昨年の旧八尾市総合戦略審議会の委員の皆様を引き続き行っていただくため、この場で委員を指名させていただきます。

和田委員につきましては、先ほど部会長として指名いたしました。その他第1号委員のうち和泉委員、第2号委員・第5号委員の方全員、第6号委員のうち中田委員、増田委員、枡谷委員にお願いしたいと思います。

9. 専門部会の意向調査について

初谷会長

事務局より説明願います。

事務局

(配布資料説明)

10. その他

初谷会長

その他について事務局より説明願います。

事務局

お手元の資料で今後のスケジュールをお示ししておりますが、スケジュールにお示した各部会及び第2回全体会の日程はおおよその目安でございますので、会議開催日時については、決定次第、通知させていただきます。

また、新たに資料がございます場合は、その都度、事前に送付をさせていただきますので、本日お配りいたしましたフラットファイルに追加して綴じていただき、全体会及び部会開催の際にお持ちくださいますようお願いいたします。

なお、本日机上に配布させていただいている第5次総合計画等の冊子につきましては、各委員の個人資料として用意させていただいており、お持ち帰りいただくか、机上に置いていただければ、事務局で管理することもできますので、よろしくお願いいたします。

最後に、本日の全体会閉会后に引き続きこの会場において、19時40分から総合戦略部会を開催いたしますので、事務局にて机等の配置換えを行います。部会員の皆様におかれましては開催時刻にはご着席いただきますようお願いいたします。

閉会

初谷会長

これで、第1回八尾市総合計画審議会を終了します。

以上